# きょなん

町報　第378号
発行：鋸南町役場
編集：秘書広報課
〒299-2192
千葉県安房郡鋸南町下佐久間3458
☎0470-55-2111㈹
毎月１回

1
2000




おせち料理講習会（中央公民館）

# でとうございます
# 幸せを感じる町づくり



町　長
**白　石　治　和**

昨年４月以来、町民の皆様には力強いご支援とご協力をいただき厚く感謝申し上げます。「町民は主人公」を基本に「元気な鋸南町」の実現を目指して町政に取り組んでまいりましたが、記念すべき年の始めにあたり、改めてその責務の重さに心引き締まる思いです。

昨年は新たな試みとして、皆様の要望に行政が素早く応えられるよう「すぐやる係」を設置しました。大きな反響があり、処理件数も増加しております。なお一層の努力をしてまいりたいと思います。

さて、本年は今後の町政の設計図ともいえる「新鋸南町総合計画」を17年ぶりに見直す年であります。この計画の根底をなすのは「一人一人が幸せを感じるまちづくり」の実現であり、作業にあたっては「町づくりのプランは町民の手で」を基本に、町民のニーズが十分検討できるよう、一般公募による委員会の設置、さらに皆様の町政への意向、要望を反映できるようアンケートの実施や町政懇談会を積極的に行ってまいりたいと考えております。

次に、年々進行する高齢化と少子化に対応した「安心して暮らせる町づくり」を図ります。４月１日から始まる介護サービスについては、保健福祉総合センター「すこやか」を拠点に各種介護サービスを展開するとともに、鋸南病院には３月末までに、入院患者が安心して長期療養することができる「療養型病床群」を開設します。またサービスの自己負担利用料と毎月の保険料負担について、低所得者への負担軽減など、今後予想される様々な問題に真剣に取り組んでまいります。と同時に人口減少に歯止めをかけるべく少子化対策として、総合的な「子育て支援」を考えております。その一つとして共働き家庭などを支援する「学童保育事業」を実施できるよう努力してまいります。

また、町内に点在する主要施設、公共施設などを線で結び、生活の足を安定的に確保して町民の交流を豊かにする循環バスの実施について、早急に検討してまいります。

最後になりましたが、この厳しい局面を乗り切るためには、行政、議会が一丸となって創意工夫を重ねていくことはもちろん、町民の皆様の中から創り出される知恵や活力によって、町を活性化していかなければなりません。大変厳しい財政状況にはありますが、行政改革をなお一層進め、町民生活の向上を図るために、全力で取り組んでまいる所存です。本年こそ日本経済が「元気」になり、「元気な鋸南町民」とともに、21世紀の扉に向かって力強い一歩を踏み出したいと思います。町民の皆様のご多幸をお祈りし、新年のあいさつとします。

## 今年は辰年

### 十二支中唯一の空想の動物

十二支の５番目の干支（えと）である辰は、十二支中、唯一の空想上の動物です。一般には「竜」と書き、「タツ」または「リュウ」と呼ばれ、その伝説は世界各地に分布しており、様々な形で伝えられています。

その姿は、おおむねヘビやトカゲのような体に、角をもった猛禽（もうきん）類か猛獣の頭、それに翼を組み合わせた形で描かれています。また、竜の性格や役割も、悪党になったり、神聖な動物として扱われたりと、地域によってさまざまです。

### 世界各地に伝わる神話の中の竜

英語やフランス語ではドラゴン(dragon)と呼ばれる竜。ヨーロッパの神話では、暗黒の化身のように扱われ、英雄や神々に征伐される話が残っています。

インドでは、竜はヘビを神格化した半蛇半神として扱われています。雲を呼び、雨を降らせる力があるとされ、雨によって五穀豊穣をもたらすと信仰されています。

中国では竜は麒麟（きりん）、鳳凰（ほうおう）、亀

**平成12年1月4日～2月3日菱川師宣記念館にて（町民無料）**

# 新年あけましておめ

## 平成12年　年頭所感



議会議長
金　木　郁　男

2000年の年頭にあたり、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

昨年４月の統一地方選挙後の初議会において、議長の重責を仰せ付かり、以来職務に精励してまいりましたが、新年を迎えるにあたって気持ちも新たにその責任の重さを痛感しております。

昨年は、大手商工ローンの悪質な債権回収が社会問題化するなど、期待した景気の回復も足取りが鈍い状態となっており、市町村を取り巻く状況はより厳しさを増しております。

しかしながら、年末の国会で補正予算が成立し、2000年度予算と合わせると15ケ月予算となり、切れ目のない財政出動となることから、景気回復軌道の押し上げとなることと期待しております。

地方分権が声高に押し進められている昨今、地方自治体に求められる仕事は質、量において、以前にも増して増大しています。町経済の活性化、生活関連施設の整備、観光施策等、多くの課題に取り組んでいかなければなりません。

特に、少子高齢化社会を見据え、本年４月から始まろうといている介護保険への対応は、大きな課題であり、見込まれる多くの財政支出、施設の整備・充実、利用料・保険料など多くの問題を内在しております。この解決のためには、将来的に合併を視野に入れた「安房郡広域連合」を組織して、サービスの提供について検討していく事もその一つの方法ではないかとも考えます。

さらに昨年、地方分権一括法案が制定され、わが鋸南町も「分権型社会」への移行、確立を迫られております。地方分権は、地方公共団体の自己責任決定を伴い、結果に対する評価も自然と厳しいものとなり、そのため町村合併をも考慮に入れた、広域行政の重要性が増してくるものと考えられます。

また、鋸南町では財政問題が表面化し、その再建について議論してきました。しかし、目前に迫った21世紀を見据え、そのような観点から、議会は昨年12月議会において、「21世紀のきょなんを考える特別委員会」の設置をしました。

今後、議会一体となり、「地方分権に向けたそれぞれの受け皿づくり」「財政再建に向けた行財政改革」「議員定数問題」「将来の広域連合の検討」「新総合計画への取組」「産業・商工・観光施策」「住環境整備施策」について積極的に検討を加え、町当局に提言するとともに、よりよい鋸南町、住みよい鋸南町に向けて努力してまいります。

皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げまして、新年のご挨拶といたします。

ともに四霊と呼ばれています。竜は淵にすむ神秘的な動物で、水や雨に関係するとされています。また、竜は天子のシンボルとされ、天子の顔を竜顔などと表現していました。

### 水や雨をつかさどる竜神・水神のシンボル

日本では竜は神聖視されており、古代神話にも竜が登場しています。『古事記』と『日本書紀』には、トヨタマヒメの産屋での変身をヒコホホデミノミコトが見るくだりがありますが、古事記では八尋（やひろ）のワニになったとあり、日本書紀には「竜となりぬ」と記されています。

また、竜は雲を呼び、雨を降らせる神として古くから信仰されており、日本各地に竜神・水神として残っています。

「竜」のつく言葉では、「竜頭蛇尾」「画竜点睛（がりょうてんせい）」「登竜門」など、中国の故事に由来する言葉がよく知られます。「登竜門」は、黄河上流の急流の峡谷、竜門をのぼりきった魚が竜に変わったという伝説から、成功への一歩となる難関という意味があります。

辰年にあやかって、今年は難関を突破し、飛躍の年にしていきたいですね。



**新春特別展示**　昇り龍図（菱川師宣作肉筆画）公開

## 西暦2000年記念 元旦マラソン記録会

◆日　時
平成12年1月1日（土）
雨天中止（チャイム放送有）
集合9：30　開会式10：00

◆場　所
鋸南中学校（受付は体育館、スタート及びゴールはプール棟前広場となります）

◆対象者
町内・町外在住を問わず、小学生以上の方ならどなたでも参加できます。

◆種　別
1千mコース・2千mコース
3千mコース・4千mコース

◆受　付
参加希望者は、9時30分より10時までに受付をしてゼッケンを受領してください。
※参加者全員に2000年大会記念タオルをプレゼント。

◆注意事項
(1)酒気帯びの方、高血圧の方、健康のすぐれない方の参加は禁止します。
(2)小学生は1千mコース、中学生は3千mコースを限度とし、高校生及び一般の方は、コースを自由選択にできます。
(3)完走者には記録証を交付します。また前回の記録証がある方は受付に提出してください。
(4)競技中の負傷については、応急処置はしますが、その後は各自の責任で処置願います。
(5)小学校低学年の児童は、大人の方の引率が必要です。また、高学年及び中学生は、保護者の了承を得てください。

◆申し込み・お問い合わせは
教育委員会☎55―2120

## 次代を担う青少年による 鋸南町こども議会

鋸南町では、21世紀の鋸南町を担う青少年に、町政について認識を深めてもらう機会を提供するとともに青少年の考えを今後の町政に反映させることを目的として、次のとおり『鋸南町こども議会』を開催します。

こども議会では、町内から選ばれた小・中・高校生計21名が議会議員となり、通常の議会と同様、町3役や各担当課長に自ら考えた質問や意見を述べます。内容は教育や町づくりをはじめとして多岐にわたる予定で、子どもたちの視点から見たフレッシュな意見は、実際の町政に活かされることになります。

こども議会の実施は、内房地域では初、さらに出された意見を実際に町政に活かそうとするのは安房郡市でも例のない試みですので、ぜひ傍聴ください。

当日の傍聴は自由ですが、座席数には限りがありますので、ご注意ください。なお、こども議会の内容は町報3月号でも詳しくお知らせします。

**日　時**　平成12年1月27日(木)
午後1時30分開会

**場　所**　鋸南町役場議場

子ども議会に関するお問い合わせは鋸南町議会事務局
☎55―2111（内線241）

## 国民年金だより

### 20歳からスタート国民年金

成人を迎えられたみなさん、おめでとうございます。20歳になると成人として多くの権利が認められますが、また同時に義務を課せられます。国民年金に加入することもその1つです。

人生80年時代。いま、私たちは世界で一番長生きできる国に住んでいます。長生きできることは、すばらしいことですが、それだけ自分の人生を長い目でみた人生設計が大切なものになってきたといえるでしょう。

「40年も先のことなんて…」とあなたは思うでしょうが、若いあなたも、必ず老年を迎える日がきます。長い一生のあいだには、どんなことが待っているかわかりません。そんな「もしも…」のときに欠かすことができないものが、国民年金です。

国民年金は、20歳から60歳までのすべての人が加入します。厚生年金などに加入している方は、会社などで加入の手続きをしてくれますが、学生や農業、自営業などの方は、自分で手続きをして国民年金に加入しなければなりません。手続きは役場税務住民課で行っています。

20歳になったあなた!!
国民年金に加入して大人の仲間入りをしましょう。

追加受付を行います

## 入札参加資格審査申請書

平成12年度、鋸南町の発注する建設工事、測量・調査、物品等の請負契約、委託契約の指名競争入札に参加するには、入札参加資格審査を受け、入札参加業者資格名簿に登載されることが必要です。平成11・12年度分の申請書を提出されていない方のために申請書の追加受付を下記のとおり行います。

◆申請書受付期間
平成12年1月5日～2月29日

◆提出先及び方法
鋸南町役場総務課に直接持参するか郵送

◆申請書類等
県書式に準ずる。ただし用紙及びファイルの大きさはB5版とする。（申請書類等についての説明書は総務課窓口にあります）

◆お問い合わせは
鋸南町総務課☎55－2111（内線223）

## 年末年始　ゴミ・し尿の収集

**ゴミ**　可燃ゴミ・カン類は12月28日(火)まで、ビン類は保田地区12月27日(月)、勝山・佐久間地区は12月30日(木)までです。

**し尿**　年内は12月28日(火)まで収集します（ただし年内収集の申し込みは12月20日までです）
◆ごみ・し尿とも年始は4日(火)から収集します

**とき：1月7日午前9時から　ところ：岩井袋運動場**

## 1月10日は 110番の日

### 110番 早く正しく 要領よく!!

警察では、毎年、1月10日を110番の日として、110番の正しい使い方をみなさんにお知らせしています。

**事件事故が発生したとき**

「何が」「どこであったのか」をお知らせください。110番センターでは、みなさんからの通報を受けると同時に、交番やパトカーなどに手配をしています。あわてずに、見たままをお話しください。

**携帯電話から110番するとき**

①移動しながらの通話は、途中で切れたり、事故の原因となります。運転中であれば、安全な場所に止めてから通報してください。

②警察から確認のためかけ直す場合がありますので、通報後もしばらくは電源を切らないでください。

③県境付近から通報した場合、隣接の都道府県につながることがありますが、応答した警察官の指示に従ってください。

## こちら交番です。今月の担当は



勝山交番：若鍋 勉 交番長

**新年明けまして おめでとうございます**

昨年、勝山交番管内では、大きな交通事故や凶悪犯罪の発生がありませんでした。

これも町民のみなさまの絶大なる、ご支援とご協力のおかげと感謝申し上げます。

本年もみなさまの「安全と平穏な暮らし」を守るために交番員一同、最善を尽くして参りますので、変わらぬご支援ご協力をお願いいたします。




## B＆Gバレーボール大会 6年ぶりに3位入賞

県内13町によって争われる、千葉県B＆G海洋センターバレーボール大会が、11月28日、御宿町で開催されました。鋸南町からは鋸南中PTAチームが出場し、見事3位入賞を果たしました。鋸南チームは、予選リーグに快勝し決勝トーナメントに進出しましたが、準決勝で3連覇中の強豪睦沢町と対戦し0対2で惜敗しました。



健闘した鋸南中PTAチーム

## 千葉県福祉大会で4名が表彰

県内の福祉関係者が一堂に会して、県の福祉基本目標となっている「ふれあいと支えあいのある心豊かな社会福祉」の実現に向けて一層の努力を誓い合う、第49回千葉県社会福祉大会が、11月4日、千葉市の県文化会館で開催されました。席上、社会福祉の発展に寄与された方々が表彰され、鋸南町からは、民生委員・児童委員1名と母子福祉推進員3名が表彰されました。今回、表彰されたのは次の方々です。(敬称略)

**民生委員・児童委員**



重田昭夫(大帷子下)

**母子福祉推進員**



石井寿枝(中佐久間)



渡辺悦子(本郷浜)



堀込あや子(小保田)

## 一斉清掃にご協力ありがとうございました




海岸の清掃に励むみなさん

年末恒例の町内一斉清掃が、12月5日、町民のみなさんのご協力得て実施されました。町中から集められたゴミは、ビン・カン・可燃物など合わせて5,630kgにものぼりました。町は環境美化に努めておりますが、今後もみなさん一人一人が、きれいな町づくりのためにご協力をお願いいたします。



**新春を飾る** 鋸南町消防団出初式~ぜひご覧ください~

連載　家庭教育　83

# 二〇〇〇年を迎えて
# 豊かな心で　生き生きと！

## ○　新しい年の始めに

新年おめでとうございます。

二〇〇〇年という記念すべき年が　スタートしました。今年こそ　豊かな心を持って　生き生きと　その人らしく生きていけるようにしたいものです。

昨日より今日のほうが　少しでも進歩した生活になるようにと　努力し　日々新たな思いを持って生きていきましょう。

そのためには　先ず今年の志をしっかりと立てましょう。子どもだけに要求するのではなく親も志を立て　親子共々に切磋琢磨しながら生活できるようにしましょう。

子どもが　お父さんのように　お母さんのように　なりたいと思えるように　先ず親自身の生活を反省し　よりよい生き方をしていきましょう。

## ○　心の成長のために

いわゆる良い学校を卒業して社会人になった人達のなかに大切な心が抜け落ちていて『子どものような大人』がいると感じることがあります。

自分のことしか見えなくて他人の迷惑になることを平気でしたり　社会の約束ごとを守れなかったりします。

独りよがりで　他人から学ぶことのできない人がいます。

何事も　自分の思いどおりになると錯覚しがちです。我慢をしたり　待つことができなくて直線的・短絡的な行動をとることが多くなっています。

こうした人達は　赤ちゃんの時から　手をかけ過ぎて　育てられてきたようです。そのうえいつも　自分の思いどおりになる生活をしてきたのでしょう。

そこで　身体はどんどん成長しても『心』の成長が　それに伴っていないのだと思います。

人間は　身体の成長に伴って『精神や魂』も　大きく育っていかなければならないのです。

昔は　欲しいものを買ってと駄々をこねたり　地べたにひっくり返ったりしている子どもがありました。最近はそのようなことは　あまり見かけません。

子どもが要求する前に　親が準備をしたり「欲しい」と言えば　すぐに与えているからではないでしょうか。『我慢をして待つ』という体験が不足していると思います。

時間・空間・仲間の『三間』がなくなって元気に思いきり遊びながら　人間関係を豊かにする機会が失われているのです。

家族のために　自分の力を出すことも少なくなっていませんか。家族の役にたつことで　意欲や積極性は養われます。

いつも「いけません」「こうしなさい」という指示命令ではなく「なぜ　そうするの」「あなたは　どう考えるの」という親の問いかけが大切なのです。それによって　物ごとを深く見たり　考えたりする力が培われていきます。自分で考え　選び実行するという経験をたくさんさせましょう。子どもは　体験を通して学び　さまざまな力を身につけていくのです。



# 健康通信

## 『高　血　圧』

高血圧には「本態性高血圧」と「2次性高血圧」の2種類があります。

このうち2次性高血圧は、腎臓の病気やホルモンの異常などが原因となっているもので、原因の病気を治療すれば、高血圧も解消されることがあります。

一方、本態性高血圧は、原因がハッキリしないもので、高血圧の大部分はこのタイプです。最近では心臓や血管、腎臓、脳・中枢神経など血圧の調節機構のどこかに遺伝的な異常があって、そこに生活習慣など2次的因子がかかわって発症すると考えられています。こうしたことから本態性高血圧の治療では、高血圧を招きやすい生活習慣の改善が非常に重要になります。

高血圧が続くと、頭痛や肩凝りなどの症状がでることもありますが、初めはほとんど自覚症状がないため、高血圧を軽くみて、そのまま放置してしまう人が少なくありません。しかし、高血圧を放っておくと、血管に強い圧力がかかり続け、動脈の血管壁が厚く硬くなって傷がつきやすくなります。

その血管壁の傷にコレステロールなどの血液成分がひっかかり、蓄積しはじめると動脈硬化が進み、血管の内腔が狭くなってきます。動脈硬化によって、血液は流れにくくなるので、心臓はより一層圧力をかけて血液を送り出さなければならず、血圧は更に上がります。

この悪循環を繰り返していると、次第に心臓は疲れて（心肥大）機能が不十分になります。血液は身体中に酸素と栄養を運んでいるので、血液の流れが悪くなれば体内の組織や細胞に障害が起こります。そしてついには、心臓病や脳卒中や腎不全などの重大な病気を引き起こすのです。

誰でも年をとると動脈硬化が進むものですが、高血圧を放っておくと動脈硬化に拍車がかかり、全身に重大な合併症をきたします。自覚症状が必ずしも病気の重症度とは一致しないことを理解して、生活習慣を改善したり、医師の指示に従って、きちんと治療を受けましょう。

# INFORMATION（１月）

## 乳幼児健診

| 期　日 | 事　業　名 | 対　象　児 |
|---|---|---|
| 1月28日（金） | ３歳児健診 | 平成8年6月1日から9月30日生まれの幼児 |

・会　場　保健福祉総合センター（すこやか）
・受付時間　13：15～13：45
・個人通知をします。

## 予防接種

| 期　日 | 事業名 | 対　象　児 |
|---|---|---|
| 1月25日（火） | ツベルクリン注射 | 平成11年7月1日から10月27日生まれの乳児 |
| 1月27日（木） | ＢＣＧ | |

・会　場　保健福祉総合センター（すこやか）
・受付時間　13：30～14：00
・持ち物　母子健康手帳、予防接種予診票
・個人通知をします。前回接種できなかった方もおいで下さい。

## 健康相談

1月４日(火)　13：30～15：00　保健福祉総合センター
1月11日(火)　13：30～15：00　鋸南町商工会
1月18日(火)　13：30～15：00　老人福祉センター
2月１日(火)　13：30～15：00　保健福祉総合センター

**上記の健診・予防接種・相談のお問い合わせは**
**保健福祉課保健係　☎５０－１１７１へ**

**老人福祉センター休館日　☎５５－８８３０**
年末年始／12月27日(月)～1月4日(火)
１月／10日(月)・11日(火)・17日(月)・24日(月)・31日(月)
２月／７日(月)

## 休日当番医

| | | | |
|---|---|---|---|
| 12月30日 | 安房医師会病院 | ２２－２１７２ |
| 12月31日 | 館山病院 | ２２－１１２２ |
| 1月1日 | 富山町国保病院 | ５８－０３０１ |
| 1月2日 | 鋸南病院 | ５５－２１２５ |
| 1月3日 | 安房医師会病院 | ２２－２１７２ |
| 1月9日 | 亀田総合病院 | 0470-92-2211 |
| 1月10日 | 安房医師会病院 | ２２－２１７２ |
| 1月16日 | 館山病院 | ２２－１１２２ |
| 1月23日 | 安房医師会病院 | ２２－２１７２ |
| 1月30日 | 安房医師会病院 | ２２－２１７２ |
| 2月6日 | 安房医師会病院 | ２２－２１７２ |

**鋸南病院休診　毎月第2・第4土曜（8日・22日）**

## 心配ごと相談

1月７日(金)　13：00～15：00　役場３階小会議室
1月14日(金)　10：00～15：00　保健福祉総合センター
1月20日(木)　13：00～15：00　保健福祉総合センター
2月１日(火)　13：00～15：00　役場３階小会議室

**上記相談のお問い合わせは**
**鋸南町社会福祉協議会　☎５０－１１７４（直通）**

## 各種相談日　☎５５－２１１１

◆ハローワーク　19日(水)　10:00～15:00　１階相談室
◆結婚相談　20日(木)　9:00～12:00　3階小会議室
◆農業相談　28日(金)　10:00～12:00　3階小会議室
◆家庭教育相談　随時　9:00～17:00　☎55－4151

## 家庭教育学級　☎５５－２１２０

◆あじさい学級　18日(火)　19：30～21：00　中央公民館
◆みどりご学級(全体会)　20日(木)　9：30～11：00　中央公民館
◆父親学級　24日(月)　19：30～21：00　中央公民館
◆明日の親学級　25日(火)　10：00～11：30　中央公民館
◆コスモス学級　2/3日(木)　10：00～11：30　中央公民館
◆みどりご学級(全体会)　2/8日(火)　9：30～11：00　中央公民館

## 生涯学習 みんなで学ぼう

### 「ミニ水仙作り教室」


講師の馬賀忠幸先生

鋸南町の早春を告げる花……と言えば水仙が頭に浮かんできます。ここ数年の健康ブームで水仙ロードには、毎年大勢の観光客が訪れています。水仙の時期には、どこの家庭でも水仙が鑑賞できる。鋸南町を水仙の花でいっぱいにしたい。という願いを込めて「ミニ水仙作り教室」を開催しました。

講師は江月で水仙作りを行っている馬賀忠幸先生。長年の経験を生かし、分かりやすく教えて下さいます。水仙の生育状況を見ながら、毎月１回のペースで教室を開催しています。


肥料を配合する受講生たち

太陽の光、水、栄養の行き届いた土壌と受講生の愛情をタップリ受けて、水仙はすくすく育っています。年が明けるころには、可憐な花を咲かせ私たちの目を楽しませてくれることと思います。

◆お問い合わせ　中央公民館☎５５－４１５１

## わんぱく登場


**愛寿（ありす）ちゃん**（9か月）
〔川名竜太さん　第１子　田町〕

お店が忙しい日は私も一緒に、一家総出で出勤です。お仕事が一段落したら、お散歩や日向ぼっこをするのがとっても楽しみです。お外に行けない時はお座敷の大きなカラオケっていう機械で童謡を聞いちゃったりします。もしかしたらお喋りより先にお歌が歌えちゃうかもしれないよ。

# 歴史資料館

## 曽根静夫 その二

●連載94

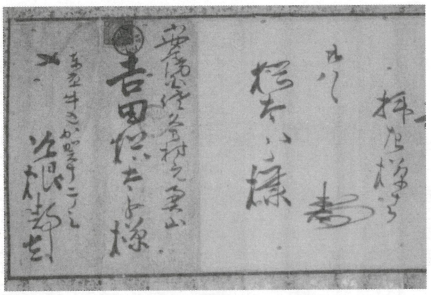
### 国家予算編成に尽力する

明治十四年、時の大蔵大臣松方正義に抜擢され、曽根静夫は大蔵省に移り、最も得意とした会計事務の仕事に手腕を発揮しました。

明治十九年、総予算決算課長。同二十三年、我が国初の帝国議会が開かれる時には、帝国議会交渉事務取調委員、予算案政府委員を歴任しました。

明治維新以来の国家財政の予算決算は、すこぶる大ざっぱなものでしたが、正確に行われるようになったのは、この頃からで、それは静夫の力による所が大でした。今日の国家予算編成上の技術が確定したのは、静夫の苦心の結果であると言っても過言ではありません。

牛込の曽根邸の近くに大隈重信邸があり、二人は相知る仲でした。ある時、静夫の訪問を受けた重信は、饒舌で得意の財政論をまくしたてました。静夫は黙って聞いていましたが、重信の話の終わるのを待って、一つ一つ的確な証拠を挙げて反論。感服した重信は、以来、重大な財政問題の起こる度に静夫の意見を聞き、重用したと言います。



▲曽根静夫の手紙（奥山 吉田家蔵）

### 日清戦争、台湾統治へ

明治二十六年、大蔵省国債局長に任命され、日清戦争においては、その戦費調達に奔走。広島の大本営にいた明治天皇に戦費の御下問を受けた静夫は、拝謁後、戦時とはいえ、あまりに粗末な御座所に遠征兵士の苦労を思し召されてか、あのような部屋で御忍びある陛下を思い、控室に戻るや泣き伏したと伝えられています。



◀曽根静夫の墓（光明寺）

戦後、領地となった台湾の統治にあたり、総督乃木希典の下、台湾民政局長に任じられ、台湾に渡り、乃木総督の女房役として台湾の民政に尽力しました。

帰国後、山形県知事、北海道拓殖銀行の創業、及びその取締役や頭取に就任しました。

静夫は郷里を深く愛していた人で、奥山の知人や旧友が東京の私宅へ訪ねて来た時は公務に支障がない限りは、早く切り上げて帰宅し、心から歓待したと言います。

明治三十六年五月三十日没享年五十九才。その死に際し正四位勲三等に叙せられました。葬儀は谷中天王寺で営まれ、雑司ケ谷の墓地に葬り、分骨は郷里奥山に葬られました。現在、墓は上佐久間の光明寺に移されています。

# 言葉の履歴書

## 「福神漬」

福運を授けてくれる七福神といえば、蛭子・大黒天・毘沙門天・弁財天・福禄寿・布袋・寿老人の七柱。昔は正月によい初夢を見るため、七福神を乗せた宝船の絵を枕の下に入れて寝る風習がありました。

また、元日から7日までに初詣と行楽を兼ねて、7つの社寺を訪れる行事が「七福神巡り」で、東京では谷中や向島の七福神が知られています。

七福神にちなむ「福神漬」は、軽く塩漬けにした大根・蓮根・鉈豆・瓜・茄子・生姜・紫蘇の実など7種の野菜類を刻み、まぜ合わせて砂糖や醤油で煮しめた食品。蕪・牛蒡・独活・筍などが使われることもあります。

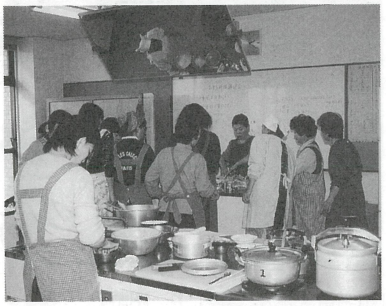
明治18（1885）年に東京上野の漬物店で売り出されたのが始まりで、谷中の七福神で知られた不忍池の弁天にあやかった命名とされています。

やがて、福神漬はインド料理のカレーライスの付け合わせに用いられるようになりましたが、もとはインドの女神とされる弁天様でも、予想ができなかったことに違いありません。

## 編集後記

SF映画を見ました。コンピューターが、己の電源として全人類を利用支配する世界の話。「あらゆる生物が環境と調和共存するのに対し、ウィルスと人類だけが際限なく増え続け、遂には宿主さえ滅ぼす」とコンピューターが征服理由を語る件で、人類の本質がウィルスと違わないことに気づかされ、返す言葉を失いました。（異闇）

## 表紙のことば



12月17日、18日の２回に分けて開催されたこの講習会。町内外から合わせて50名もの参加者がありました。重田絹子、大胡幸両先生の指導のもと、約２時間。できあがったおせち料理をご披露いただいたのは、辰年生まれの酒井さん、忍足さん、諏訪さんの３名の方です。